

24 番		臼井 淳 議員	
項目	1、公約の7つの約束について、この4年間どのように実行したのか。	項目	2、市役所という組織を運営する上で、ガバナンス、コンプライアンスを基本に健全に行われてきたのか。
(要旨)		(要旨)	
<p>(1) 4年前、市長が掲げた7つの約束には、子どもを地域で育てるまち、活気あふれるまち、市民のために生き生きと働く市役所をつくる等を公約としていました。その中でも具体的に女性副市長登用や市長・副市長の報酬見直し、新しい図書館建設など、どれだけの約束が守られたのか伺う。</p> <p>(2) 市長は、新しい瀬戸づくりを掲げていますが、この4年間で何がどう変わり、どのような成果があったのか伺う。</p> <p>(3) 自治体の長になること、つまり公益を一番に考える立場の意味と自身の公約との整合性は十分に合致しているのでしょうか伺う。</p> <p>(4) 4年前は7つの約束としていたが、2期目に向けてでは目標（リーフレット）に変わっているが、基本路線が変わったのか伺う。</p>		<p>(1) 市長は、執行機関のリーダーとして、市役所組織を健全で柔軟に対応ができるものにするために、市役所でやるべき仕事とは何であったと思われる達成度はどうであったのか。</p> <p>(2) 市長は、市役所内だけでなく、まちづくりをする上で、地場産業だけでなく、一般市民や民間企業等の人たちとどのような連携・協力を得てきたのか伺う。</p> <p>(3) これまで4年間、市役所作りを念頭に置いて、職員をまとめるため、職員一人ひとりの能力、やる気を引き出し、活躍してもらうため人材育成や職場環境の改善を図る努力はどのようにされてきたのか伺う。</p> <p>(4) 組織改編にあたり、条例改正案を2度提案していますが、1度目は議会中に撤回し、2度目では条例改正の原案を議会が修正しました。また、前教育長が辞職した問題では、公の立場として情報漏えいの問題だけでなく、基本決裁がない、記録を作成しない等の体質に問題があり、内部統制の強化や組織運営の方向性が明確に示されていないなど、ガバナンスに問題があると言わざるを得ないが、市長としての認識や問題意識、指導はどうであったのか伺う。</p>	

24 番	臼井 淳議員		
項目	2、市役所という組織を運営する上で、ガバナンス、コンプライアンスを基本に健全に行われてきたのか。	項目	3、平成 31 年度予算大綱説明を受けて、現在の財政規模、状況から持続可能な都市運営が出来るのか。
<p>(要旨)</p> <p>(5) 約 2 年前、市長は記者のインタビューに対して、「トップが動く民間と違って行政は準備に時間がかかる。合意形成ができないとなかなか時間がかかる。職員は法を基準に動くが、自分は市民感情を基準に動きたい。」と話されていた一方で、瀬戸市役所の経営理念について職員に提案されているが、その内容は、今年 1 月 7 日に法令遵守の徹底についての通知と大きなギャップを感じるが、市役所が存在する意味や政策を立案する重要性、公務員の使命と果たすべき任務とはどういうことか伺う。</p> <p>(6) 瀬戸市において今後、国際化による多様化は避けて通れず、ダイバーシティを基本にしたまちづくりを考えていかなければならない。そのため、政策立案や実行を担う職員については、適材適所の職員配置を考え職員育成によるスキルとモラルを高めることが必要と考えるがいかがか。</p>		<p>(要旨)</p> <p>(1) 平成 31 年度一般会計予算は 417 億円とこれまでにない規模になっているが、豊明市では選挙を控え新規事業を絞った骨格予算としている。本来なら統一地方選挙を控え、骨格予算とすべきではなかったのか伺う。</p> <p>(2) 平成 31 年度予算案の歳入市税では、例年通りの約 180 億円を少し超える程度で、歳入確保に向けた取組みが重要になるが具体策はあるのか。予算大綱説明での市内企業の成長につながる設備投資や積極的に企業誘致に取り組むことが自主財源の確保になると考えているのか伺う。</p> <p>(3) 予算大綱説明では、一番に地域経済の活性化を言われ、積極的に企業誘致に取組んでいく方針のようだが、そのための組織体制はどうするのか。企業誘致に特化したセクションを設置しないと他自治体との優位性を確保することは出来ないがいかがか。</p> <p>(4) 企業誘致促進では、デジタルリサーチパークや品川カントリー以外のさらなる企業誘致は考えられているのか。その場合には適当な用地があることが前提だがいかがか。</p>	

24 番	臼井 淳議員			
項目	3、平成 31 年度予算大綱説明を受けて、現在の財政規模、状況から持続可能な都市運営が出来るのか。		項目	4、持続可能な都市経営をする上で、中心市街地の再構築は避けて通れないのではないのか。
<p>(要旨)</p> <p>(5) 平成 31 年度の歳出削減に向けた取組みは考えていないのか伺う。</p> <p>(6) 予算大綱説明では、総合計画に掲げた重点政策ごとの説明があっただけで、これまで 600 を超える事務事業の中で、優先度の低い事業や効果が余りない事業や多数の補助金交付等、事務事業評価を行い、事業の見直しを実施しないのか伺う。</p> <p>(7) 今後の公共施設更新問題に繋がっていく維持費や活用することによる効果があるのかについて、パルティセと、瀬戸蔵、新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館、ノベルティ・こども創造館等の維持費を含む施設が有効的に活用されていると評価するのか。取得した山繁商店や瀬戸サイトについても、市民にとって有効的に活用できるとも思えないが見解を伺う。</p> <p>(8) 一部事務組合への負担金について、公立陶生病院では、今後 5 年間多額(約 20 億円)の借入金返済に伴い経営への影響が予測される。また、尾張東部衛生組合では、ゴミ焼却炉施設の老朽化に伴う更新費用に多額の予算が見込まれる等、財政的に厳しい状況を迎えることになるが、財源確保のための考えや財政面についてどう備えていくのか伺う。</p>			<p>(要旨)</p> <p>(1) 人口減少を前提として、尾張瀬戸駅周辺の都市機能の再配置・機能集約をどう考えているのか。市街地を拡大することではなく、コンパクトな都市形成を視野にいれなければならない。鉄道交通の利便性を最大限活かした中心市街地の再整備には力を注がないのか見解を伺う。</p> <p>(2) 中心市街地再開発について、本山中学校、道泉小学校、深川小学校の跡地や尾張瀬戸駅中心の住宅街を含む状況をどう考え、少子高齢化が進む中で、再開発に取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 中水野駅周辺の区画整理事業としてスタートする目途と塩草土地区画整理事業の完了への目途は立っているのか伺う。</p>	

24 番		臼井 淳議員	
項目	5、「にじの丘学園」をモデルにすべての小中学校において、一貫教育を推進していくことへの具体的な計画はあるのか。	項目	6、困難をかかえる子どもへの対策強化が必要ではないのか。
(要旨)		(要旨)	
<p>(1) 「にじの丘学園」の建設工事は順調に進んでいるようだが、一貫教育の中身、プログラム等の準備を含めてどのような状況か伺う。</p> <p>(2) 市長は、すべての小中学校において一貫教育を進めていくとしているが、今後、教育委員会及び関係部局とどのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(3) 現在、菱野団地内の原山小、八幡小、萩山小、光陵中学校の生徒数、クラス数の状況を見てどう認識しているのか。中心市街地以外の学校適正配置への取組みはどのようにしていくのか伺う。</p>		<p>(1) 千葉県野田市で起きた虐待事件だが、学校にSOSのメッセージを出していたが、大人の都合が優先され、大人同士のトラブルを回避するために子どもが犠牲になっている。子育て支援施策も無償無料のメニューが並んでいるが、その財源を子どもに直接届く政策に転換しなければならないと思っている。今回の事件についてはどのような危機意識を持っているのか。また現状の教育や福祉に諸課題はないのか伺う。</p> <p>(2) 近年、困難を抱える若者や子どもが社会的に問題となっている。愛知県では、同様の対象者を乳幼児期から学童期、思春期、青年期までの対象期間としているが、瀬戸市が行う困難を抱える若者・子どもへの支援について具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。</p>	

24 番		白井 淳議員	
項目	7、瀬戸市の水源地や森林など自然豊かな地域をどう保護しているのか。	項目	
(要旨)		(要旨)	
<p>① 近年、太陽光発電施設の開発申請が提出され、北山団地や上半田川地区のような大規模なメガソーラー発電施設の計画が進められています。そのため、これまでの土地利用調整条例だけでなく、新たに太陽光発電施設に関する条例の制定を進めているが、今後も同様の開発計画が持ち上がる可能性はある。瀬戸市には、貴重な水源地や天然記念物のオオサンショウウオが生息する地区等、貴重な自然環境を保全・保護する必要があると思うがいかがか伺う。</p>			